



がっこうだいすき
杉っこ通信

杉の子特別支援学校だより
平成27年1学期号
6月15日(月)発行

石薬師分校「職業科」の紹介 No. 1

石薬師分校は、開校以来年々生徒数も増加して、今年度は84名（男子60名、女子24名）になりました。卒業後の自立した生活を目標に毎日楽しく学習しています。

石薬師分校では、週30時間の授業の内、12時間を「職業」の授業にあてています。そこでは、卒業後のより充実した生活を目標として、挨拶や連絡・報告といったコミュニケーション力や集中力・持続力のような働くために必要とされる基礎的な能力を身につけるため、作業や実習を中心とした学習を行っています。

「職業」には『ものづくりコース』と『流通サービスコース』の2つのコースがあり、生徒はそのどちらかのコースを選択します。『ものづくりコース』では、織物、工芸品、食品等の制作や野菜等の栽培などを学習します。一方『流通サービスコース』では、情報機器の操作や軽作業、ビルメンテナンス、リサイクルを中心に学習します。

前回の『ものづくりコース』に続いて、今回は『流通サービスコース』の授業内容について紹介します。

【 流通サービスコース 】

オフィスサービスと、トータルメンテナンスの授業をとおして、用具等の利用方法や管理について、知識・技能の習得・仕事の意義・役割などを学びます。

《オフィスサービス》

オフィスコンピューターの授業では、情報機器の基本的な操作を学習し、的確に操作できる技術の向上をめざします。



OAでの授業

杉の子特別支援学校だよりは、本校・分校の情報共有および保護者・地域への情報発信を主な目的として、毎学期発行していきます。杉の子特別支援学校に対するご意見、ご要望等ございましたら、お気軽にお知らせください。

＜学校だより担当＞

本校 教頭 森 美穂 (059-379-1831)

分校 教頭 細木健樹 (059-373-2727)



石薬師分校「職業科」の紹介 No. 2

《オフィスサービス》

オフィスワークの授業では、簡単な軽作業を体験することで、集中力・体力・コミュニケーション力をつけ、仕事への責任感を養います。また、印刷や綴じ、シュレッダー、在庫管理など事務業務全般を通してその技術を身につけることをめざします。



ゴム製品のバリ取り作業

《トータルメンテナンス》

トータルメンテナンスの授業では、ビルメンテナンス（清掃）やリサイクルをとおして、環境に対する意識を高め、実践力の育成をめざします。



清掃技能検定の練習



リサイクル紙の紙漉き

三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校とは

平成22年度に県内初の高校施設内に設置された特別支援学校として開校しました。

知的障がいの生徒を対象とした高等部単一の学校です。

鈴鹿・亀山地域の特別支援学校として、教育力の向上と地域に開かれた教育を推進しています。



本校より



☆☆本校の小中高それぞれの学部の新学期の取り組みを紹介します。☆☆

小学部

小学部は、男子19名・女子7名の計26名の子どもたちが毎日通っています。スクールバスや送迎の自家用車から降りて登校してくる子どもたちの笑顔は元気いっぱいです。小学部は、学校生活のスタート地点にあります。そこで大切にしていることのひとつとして、「からだづくり」を紹介します。

小学部は二つの課程に分かれて学習しています。どちらのグループも一日の日課の中で2限目をその活動に充てています。

B課程では、学習や発達の基礎となる身体意識の向上をめざす学習として「杉の子タイム」に取り組んでいます。目標は、

○体力をつけ、健康な体を作ります。体を動かすことへの意欲や、身体意識を高めます。

○友だちとのかかわりを促し、一緒に遊ぶ楽しさや、意欲的な活動を育て心と体の発達を促します。

「体育」と「遊び学習」を組み合わせた総合学習と捉えています。

C課程では「からだ」の時間として、一人ひとりの課題に合ったプログラムを作成し、ストレッチなどで身体の使いたい部分を緩めたり、反対に緊張を作りだしたりして、個別の課題を行うとともに、一日の学習を始める身体のウォーミングアップをしています。



杉の子タイム「サーキット」



杉の子タイム「リトミック」





中学部



中学部は男子 27 名、女子 20 名（鈴鹿市 32 名、亀山市 6 名の通学生と鈴鹿病院の病棟生 9 名）の計 47 名が在籍しており、「一人ひとりが輝き、笑顔あふれる中学部」を目指して学習しています。

毎日の学校生活では、体力作りや交通マナー習得のために校外歩行に出かけたり、買い物学習で加佐登地域に出かけたりする学級も多くあります。歩いていると地域の皆様に「こんにちは」「がんばってるね」と笑顔で声をかけていただき、とてもうれしいです。今後とも温かく見守っていただきますようお願いします。

1 学期の行事では、5 月にフラワーパークへ遠足、6 月に 2、3 年生が鈴鹿青少年センターに宿泊学習、7 月に校外学習でヘルスプラザのプールに出かけます。また、白鳥中学校との交流は中学部の生徒がとても楽しみにしている行事で、年 5 回行う予定です。5 月は福祉委員の生徒さんたちとフラフープリレーを楽しみ、6 月の白鳥中体育祭にも参加させていただきました。



校外歩行



フラワーパーク



白鳥中学校との学校間交流



高等部



高等部は、男子 5 名、女子 5 名（地域からの通学生 4 名、病棟生 6 名）の計 10 名で、本年度の学校生活をスタートしました。4 月の学部開きでは、「あせらずみんなでささえあい 杉の子全体を熱くさせる高等部」を学部目標として取り組んでいくことを確認しました。日常の学習やさまざまな行事で協力し合い支え合いながら、学校全体を盛り上げていきたいと考えています。5 月の校外学習は、亀山サンシャインパークへ出かけ、公園内の散策や食事、店内の見学等を楽しみました。6 月には、3 年生の職場実習が実施されます。地域の事業所としっかり連携をとりながら、それぞれに合った卒業後の生活実現のための取り組みを進めています。7 月には、石薬師高校ボランティア部との交流が計画されており、楽しみにしているところです。



学部開き



校外学習（亀山サンシャインパークにて）

センター的機能の充実

県内の特別支援学校は、障がいのある方のための教育施設として、地域の保育園や幼稚園、小中学校や高等学校と協力・連携をするセンター的な役割を担っています。センター的機能として、①小中学校等の教員への支援 ②障害のある幼児・児童生徒への指導支援 ③福祉、医療、労働など関連機関との連絡調整 ④施設設備等の提供などを行います。

本校でも、年間300件以上の支援の要請に応えたり、約10件の教材の貸し出しをしたりしています。今回ご紹介する介助用電動車いすは地域の方にも貸し出しができますので、関心がおおりの方は学校にご連絡ください。

介助用電動車椅子



平成27年3月30日(月)に本校において、ナブテスコ株式会社から介助用電動車いすを2台寄贈していただきました。ナブテスコ株式会社は、モノを精密に動かし、止める技術で幅広い分野で事業を展開している会社です。例えば鉄道車両用のドアの開閉装置や船用エンジン遠隔制御システムなどです。いくつもの事業の中に、介助用電動車いすの生産事業があります。

介助用電動車いすは、坂道や芝生など介助する方の力が必要な場所では、モーターが働き、介助する方の負担を軽減してくれます。下りでは引く力が強まると自動的にブレーキがかかります。これは世界初の介助用アシスト機構です。

地域の方にも貸し出ししています。「捻挫をしたので貸して欲しい」などお気軽にお声かけください。今までの車いすでは、坂道などがあると介助の方がとても大変でした。この介助用電動車いすなら、今まで行けなかった散歩道でも楽に行くことができ行動範囲も広がります。

また、介助用電動車いすは介護保険の用具レンタルでもご利用できますので、一度お試しに学校へお立ち寄りくだ

<工事のお知らせ：6月中旬～9月末（予定）>

体育館のつり天井改修と校舎の窓ガラス入れ替え工事を行います。体育館は地震時に天井や照明器具等の落下・脱落を防止のための工事です。ガラスは避難経路確保のためにポリカーボネイト板等に取り替えます。工事中はご迷惑をおかけすることがあると思いますが、児童生徒の安全安心のためにご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。